

設楽ダム
事業

超党派で建設促進要望

大村知事へ東三河県議ら

「設楽ダムの建設は東三河8市町村の合意事項。ぜひ、ゴーサインを」。東三河の県議が20日、そろって大村秀章知事と面会。異例の超党派で建設促進を要望した。

超党派の要望に出席したのは、東三河選出の県議11人のうち、か

の県議11人のうち、か
しわくま光代氏(民主
・豊橋市)を除く10人
で、豊橋市選出の渡会
克明(公明)、小久保
三天(無所属)、鈴木
孝昌(自民)、浅井由
崇(民主)、豊川市選
出の小林功(自民)、
藤原宏樹(同)、野中

泰志(減税日本一愛
知)、蒲郡市選出の飛
田常年(自民)、新城
市及び北設楽郡選出の
峰野修(同)、田原市
選出の山本浩史(同)
の各氏。
県公館で行われた要
望では、東三河県議団
を代表して小林前県議

会議長が「設楽ダム建
設は東三河全市町村念
願の事業。すでに長い
年月を経過、一部は移
転を進めるなどしてお
り、生活再建は急務。
県も膨大な財源を必要
とするが、ぜひ早急に
結論を」と要望した。
これに対し、大村知

事は「一般質問でも答
弁したが、(結論を出
すには)さらに専門家
などの意見聴取が必
要。財源もいる」と答
弁。即決でゴーサイン
を出す考えのないこと
を表明した。



大村知事に設楽ダム建設事業促進を
要望する東三河県議団